

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は

「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」ことを合言葉に、平和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫して産別の最重要課題として位置づけて運動に取り組んできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年 9月 4日

組織名 【 東京民医労、病体生理研究所支部 】

施設名 【 病体生理研究所 】

職場・所属 【 法人事務室 】 7名

【賛同者の名前やメッセージなど】

☆ 暗黒の時代に 逆戻りするのには真の平御免で、
時計の針を逆戻りさせた法案に反対です。
武力による平和は有りません。国民の声を聞いてください!!

敵を攻撃する努力ではなく、敵となる由縁を探し解決し平和同盟関係を築く努力を行って下さい。企業の営利のための敵づくりは止めて下さい。日本は軍では守れない、調和の力で守る国です。

了んさんたちの「ゴマカシ」が通用するほど、日本国民は心かたではありません。

